

せん定後の管理

せん定も順調に進んでいると思います。せん定の終わった園地では、もう一度見回りをして、枝の混み具合や樹勢に合った強さのせん定かどうか、見直しをしてください。せん定が遅れている園地は、ほかの作業に支障が出ないように急いで終わらせましょう。

発芽前までに終わる作業としては、せん定枝の整理、園地清掃、腐らん病の休眠期散布、基肥の施用、苗木の定植など大事な管理作業が多く、遅くなるとその後の生育、作業に影響するので計画的に能率よく進めましょう。

また、近年、腐らん病が多発しているので、せん定の見直しと併せて、罹病枝の除去や病斑部の削り取りを徹底します。秋に基肥を施用しなかった場合、基肥は3月に施肥しチッ素量は前年の収量、品質などを勘案して加減します。



側枝切口の傷組織部の発病